

沖縄県平和祈念資料館

設計 福村俊治 + team DREAM

沖縄県平和祈念資料館

沖縄県糸満市

設計 福村俊治 + team DREAM

施工 大米建設 國場組 大城組

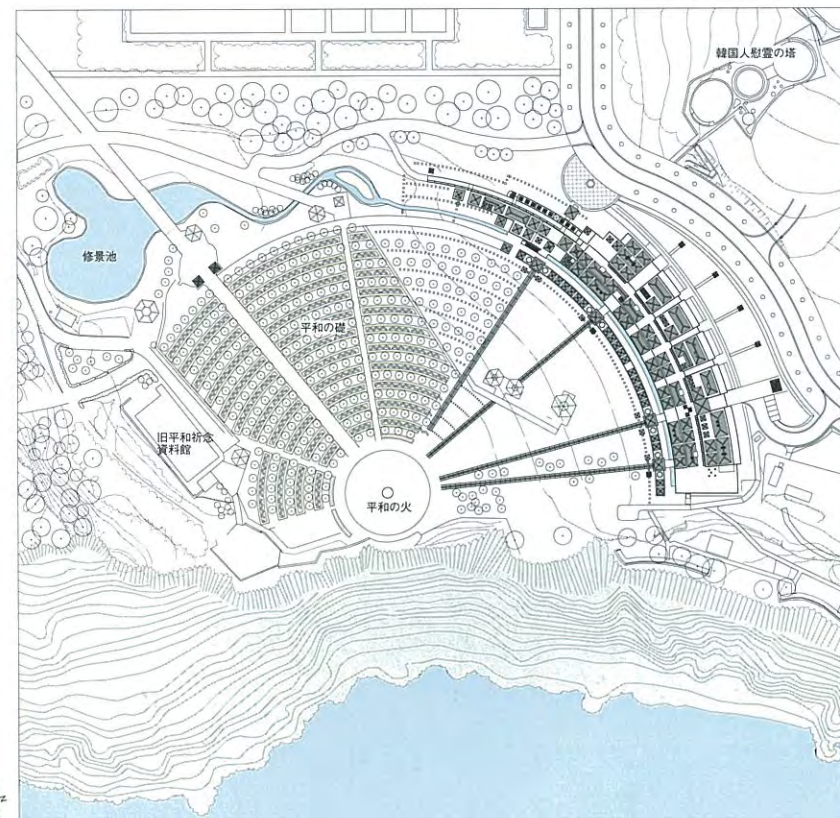
Okinawa Prefectural Peace Memorial Museum

architects: SHUNJI FUKUMURA + team DREAM





建物前面の長い柱廊。幅員4,000mm、天井高2,400mm。雨がなく陽射しの強い沖縄では大切な半屋外空間。／198-199頁：「平和の礎」側の全景。建物全長は217mあり、「平和の火」中心として同心円を形成する配置となっている。／左頁：建物と柱廊の間の中庭。ここには水路、ヒンプン、敷瓦、ベンチ、井戸、東屋、草花、樹木などのさまざまな沖縄の要素が並んでいる。



配置 縮尺 1/3,500



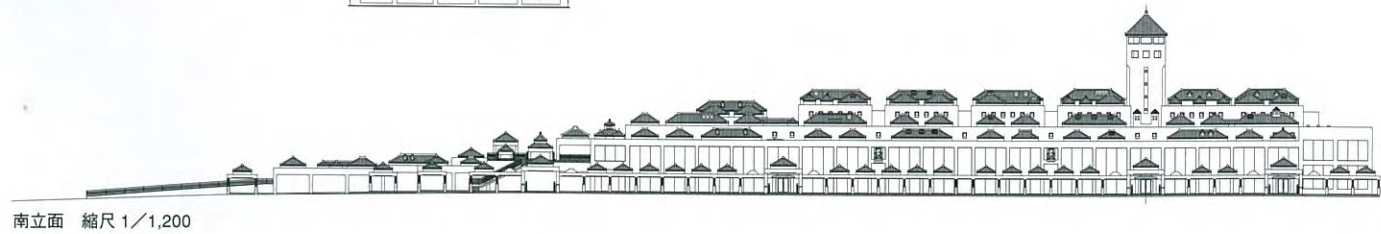
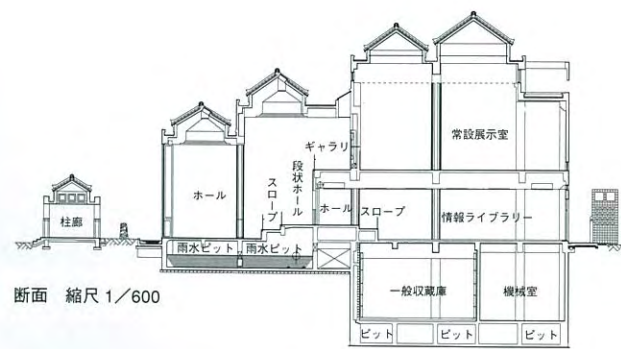
北側外観。奥に見えるのは太平洋。



平和祈念公園の中心にある「平和の火」を中心に、沖縄戦で亡くなった人びとの名前が刻まれた「平和の礎」を取り囲むように建物は配置されている。右側に見えるのが旧平和祈念資料館。*印撮影：福村俊治。



吹抜けと列柱のある湾曲した1階ホール。大きな開口から、中庭・柱廊を介して「平和の礎」側の風景が見通せる。／右頁：ホール上部の空中ブリッジから1・2階を結ぶスロープと段状ホールを見る。





1階にある平和祈念ホール前のガラスの総合案内カウンター。奥には子供展示室、情報ライブラリーへの出入口が見える。

撮影：本誌写真部。



常設展示室にある沖縄戦体験者による証言の部屋。



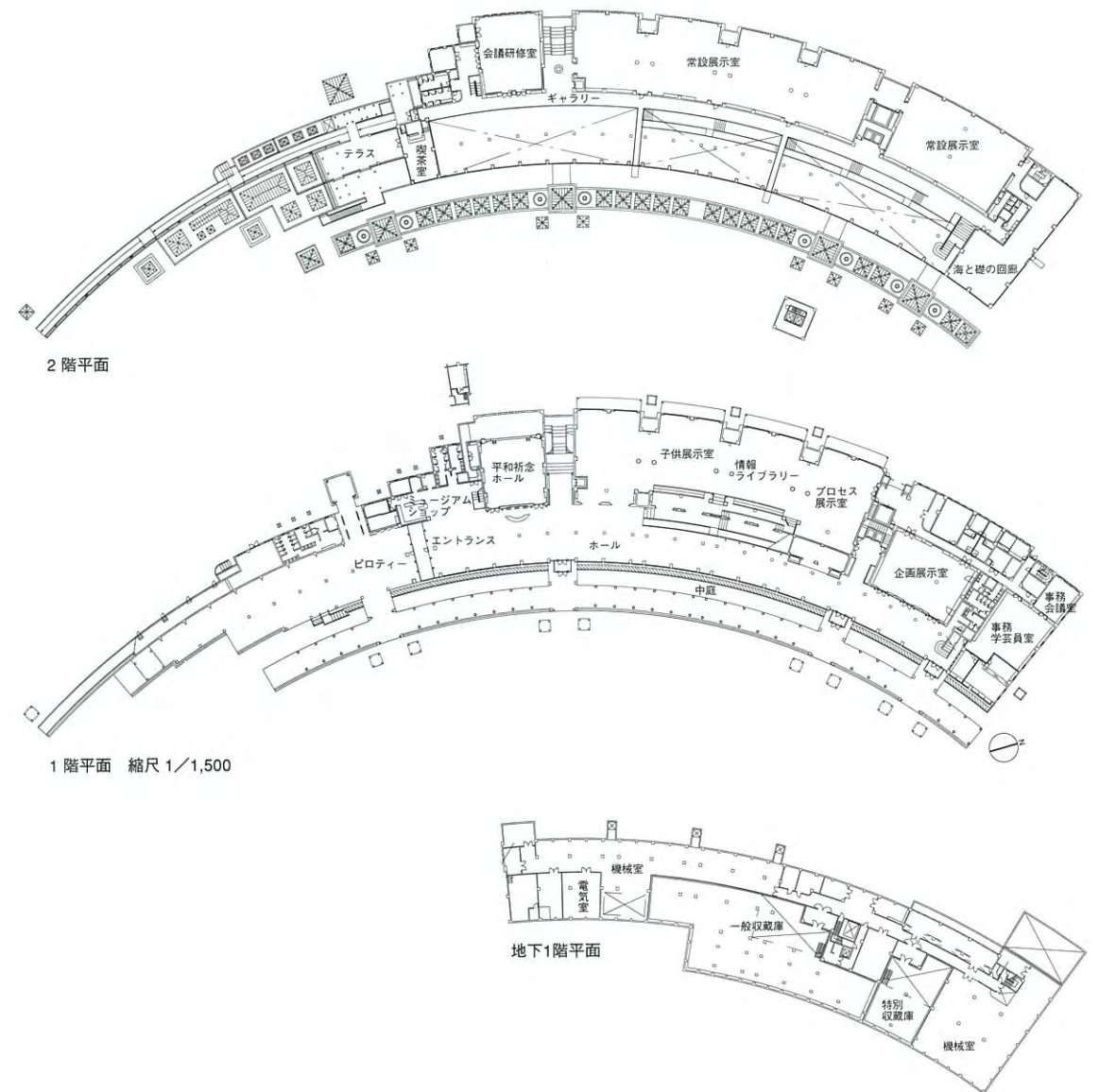
海と礎の回廊。目の前に広がる沖縄の青い海と空がこの部屋の展示物となっている。



段状ホールから情報ライブラリーを見下ろす。



平和祈念ホール。固定パイプ椅子は小畑廣永氏のデザイン。緞帳は世界地図を逆さまにした絵柄で小畑梅子氏デザイン。



2階平面

1階平面 縮尺 1/1,500

地下1階平面

沖縄戦が終わってほぼ55年、日本復帰して27年が経つ。多くの人びとの命と共に、祖先が長年培ってつくり上げた戦前の家屋や街並み、数多くの国宝級の建造物など、沖縄はすべてを沖縄戦で失った。戦前から現在までの沖縄の様変わり激しい。戦前の素晴らしい建築文化は伝承されることなく都市化し、山や海の風景まで移り変わりつつある。皮肉なことに、広大な米軍基地だけが変わることなく昔の風景を残している。悲惨な沖縄戦の記憶も風化しつつある。戦争体験者も高齢となり、今、しっかりと沖縄戦の経緯を未来に担う若者たちに伝えなければならない。今回、糸満市摩文仁の沖縄県平和祈念公園内にある旧平和祈念資料館の老朽化に伴う建て替えて、1996年3月に沖縄県内のプロポーザルコンペ（審査委員長 清家清）が行われ、われわれの案が選ばれた。設計のコンセプトは、沖縄のかつての伝統文化を継承しながら「沖縄の将来の夢や平和を希求する心をかたちにすること」であった。この敷地は沖縄県本島南端にある沖縄戦終焉

の地で、国定戦跡公園の中の景勝地の一角にある。しかも、沖縄戦で亡くなった23万余の人びとの名前が刻まれた「平和の礎」のすぐ横に建つこの平和祈念資料館は、沖縄にとって大きな重責を負う施設だ。もはや設計者個人のデザイン的な自己主張は許されないと考えた。そこで、「平和の火」を中心とし、「平和の礎」を取り囲みながら海に開くように同心円状に建物を配置し、かつての沖縄の伝統的な集落を思わせるような、数多くの赤瓦屋根をのせた。色・形ともインパクトの強いこの赤瓦屋根は沖縄の気候風土の中では、周辺に溶け込み、地元の誰もが郷愁を感じる「ウチナー（沖縄）の様相」であり、ここでは主張しがちな建物の個性を消すことに成功した。長い柱廊やささまざまな小物のある中庭、エントランスホール前の広いピロティや石畳のスロープなどの半戶外空間はかつての沖縄建築空間の新しいかたちでの再現でもある。一方、内部は外観とは対比的にモダンなものとし、モノトーンの高い吹抜けと列柱をもつ湾曲した長いホールや2階の常設展示に続く

沖縄の青く大きな海と空に開かれた「海と礎の回廊」という部屋は、子供たちに平和の大切さや沖縄の将来の夢を感じさせる空間となっている。また、床、壁、天井をはじめ、サイン、家具、緞帳など細部にいたるまで細かくデザインがされている。今後この沖縄県平和祈念資料館は、広島、長崎の原爆資料館と共に、世界に「平和の発信」をする拠点となるはずだ。建築を夢見るアトリエ事務所の若手の建築家や学生たち、多くの地元の施工業者の努力のもとで“平和をかたちにする”作業としてこの資料館ができたことを伝えておきたい。（福村俊治）

設計 福村俊治+team DREAM
 施工 大木建設 園場組 大城組
 敷地面積 12,808.40㎡
 建築面積 6,330.00㎡
 延床面積 10,178.00㎡
 階数 地下1階 地上2階 塔屋2階
 構造 鉄筋コンクリート造
 工期 1997年11月～1999年6月

■ 沖縄県平和祈念資料館



所在地 沖縄県糸満市摩文仁平和祈念公園内

主要用途 平和資料館

設計

建築・監理 福村俊治+team DREAM
 作真建築設計事務所
 建築担当/比嘉憲信 田上政尚*
 平良進建築研究室
 担当/平良進
 二條設計
 建築担当/末吉淳一
 GROUP24
 建築担当/伊盛勝
 空間計画VOYAGER
 建築担当/福村俊治 河野俊弘
 西谷陽二* 佐藤亘*
 IGNACIO R. GALINDEZ Jr*
 監理担当/福村俊治 河野俊弘
 前城功* 美濃祐央 新垣直*
 team DREAM
 監理担当/福村俊治 友寄隆仁
 比嘉裕隆 仲宗根司和 植坂慈*
 河合潤*
 (*は元所員)

構造

金箱構造設計事務所
 担当/金箱温春 佐久間拓
 バス建築研究室
 担当/塩真孝彰

設備

Cai設備
 担当/宮良洋三 楚南幸博
 高良聡

照明

ライティングプランナーズ アソシエイツ(LPA)
 担当/面手薫 稲葉裕

サイン・緞帳・椅子

HILOデザイン研究所
 担当/小畑廣永 小畑侑子

展示

乃村工藝社
 担当/堀田勝之 吉永光秀
 染谷恵一

造園

トロピカルプランニング
 担当/佐々木慶二
 トロピカルグリーン設計
 担当/大竹岩男

沖縄緑化研究所

担当/小島裕

施工

建築 1工区:大木建設 担当/久田清隆 2工区:園場組 担当/玉城保 3工区:大城組 担当/金城勇

空調

1工区:大宮設備 担当/伊敷幸栄 2工区:琉球冷機 担当/小嶺幸栄

衛生

園場組 担当/古謝秀雄

電気 1工区:那覇電工 担当/西江朝基 2工区:金城電気工事 担当/喜友名聡
 その他 松下電器産業 担当/渡嘉敷宗彦
 サンケン・エンジニアリング 担当/真栄田喜政
 松村電機製作所 担当/上原康幸
 沖縄日立 担当/玉城勝巳
 開那工業 担当/名幸政光

面積

敷地面積 12,808.40m²
 建築面積 6,330.00m²
 延床面積 10,178.00m²
 地下1階 2,419.8m²
 1階 4,536.7m²/2階 3,130.8m²
 展望階 90.7m²
 建ぺい率 49%(許容:70%)
 容積率 79%(許容:400%)
 階数 地下1階 地上2階 塔屋2階
 寸法 最高高 塔屋:30,700mm 軒高 7,400mm
 階高 B1F:6,300mm 1F:5,500mm 2F:6,700mm
 天井高 常設展示室:5,900mm
 地域地区 都市計画区域内 市街化調整区域
 道路幅員 北25m
 駐車台数 4台
 構造 鉄筋コンクリート造 一部PCコンクリート造
 杭・基礎 ラップルコンクリート併用ベタ基礎

空調設備

空調方式 単一ダクト+FCU方式 ビルマルチ方式
 熱源 氷蓄熱方式(空冷チラー)

衛生設備

給水 加圧ポンプ方式(上水・中水利用)
 給湯 局所方式(電気湯沸器)
 排水 自然流下方式 ポンプアップ方式(地下部分)

電気設備

受電方式 屋内キュービクル式高圧受電方式
 予備電源 ディーゼル発電機 300kVA
 防災設備

消火

スプリンクラー消火設備 屋内消火栓設備 粉末消火器 イナージェン消火設備

排煙

機械排煙 自然排煙
 その他 火災報知設備 誘導灯 非常放送設備 非常照明

昇降機

乗用エレベータ×3台
 特殊設備 舞台機構設備 舞台照明設備 舞台音響設備

設計期間

1996年6月~1997年3月

施工期間

1997年11月~1999年6月

工事費

総工費 4,942,200,000円

外部仕上げ

屋根 勾配屋根:コンクリートスラブ金ゴテ押えの上沖縄在来赤瓦葺一部ようへん漆喰押え フラット屋根:コンクリートスラブ金ゴテ押えの上アスファルト防水

層断熱材 t=35mm敷込みモルタル押え
 外壁 腰部:コンクリート打放し下地処理の上100mm角はつりタイル ボーダータイル L=200mm
 開口部 アルミサッシュ(シルバー) アルミシャッター
 外構 中庭:床 から練浸透性モルタルの上300mm角琉球石灰岩リサイクルストーン敷 赤瓦こぼ立て敷 100mm角異型CB敷 ヒンブン:琉球石灰岩野面・あいかた積み 漆喰シーサー

内部仕上げ

ホール
 床 花崗岩 t=25mm石敷(インバラブラック)JP仕上 一部磨き仕上
 壁 腰壁:大理石 t=20mm張(ピヤンコカラ) 壁:コンクリート打放し補修下地の上アクリル樹脂塗料
 天井 軽天下地PB t=9mm 一部岩綿吸音板 アクリル 一部アルミルーバー
 平和祈念ホール
 床 モルタル下地500mm角タイルカーベット一部花崗岩 t=25mm敷
 壁 腰壁:有孔銘木合板 t=50mm OSCL(裏側グラスウール t=50mm)一部大理石 t=20mm張 上部:PB下地 t=12mm AP一部有孔合板 t=6mm 一部岩綿吸音板 t=15mm VP一部アクリル光壁
 天井 軽天下地PB t=9mm VP 岩綿吸音板 t=15mm VP

子供展示室

床 モルタル下地500mm角タイルカーベット一部花崗岩 t=25mm敷
 壁 腰壁:大理石 t=20mm張 壁:PB t=12mm VP
 天井 軽天下地木格子天井OP 裏側:グラスウール吸音材 t=50mm 周囲:PB t=12mm AP 一部アクリル光天井

海と礎の回廊

床 モルタル下地 周囲:花崗岩 t=25mm 中央部:フェルト下地カーベット敷 t=13mm
 壁 腰壁:大理石張 壁:PB下地 t=12mm AP 一部大理石 t=20mm張
 天井 軽天下地PB t=9mm VP 岩綿吸音板 t=15mm AP
 撮影 本誌写真部

●福村俊治(ふくむら・しゅんじ)
 1953年滋賀県生まれ/1977年関西大学工学部建築学科卒業/1979年同大学大学院修士課程修了/1982~89年原広司+アトリエ・ファイ建築研究所/1990年空間計画VOYAGER設立/1996年沖縄県平和祈念資料館設計プロポーザル最優秀賞受賞、沖縄県総合福祉センター設計プロポーザル最優秀賞受賞/1997年Team DREAM設立/WRAP委員会メンバー